

「家に帰りたい」という

『思い』に我々ができる事

～在宅復帰へ向けたフロアでの取り組み～

東京都 介護老人保健施設ウイング

発表者：介護福祉士 西田 学

共同研究者： 押野 義浩

萩原 大祐

奈良 大輔

はじめに

介護老人保健施設ウイング

東京都府中市 単独型施設

平成11年11月1日開設

入所定員：140名

一般棟 50床2棟

認知症専門棟 40床1棟

通所定員：40名

介護老人保健施設
ウイング



組織理念

「人と社会のケアを通じて、

健やかな未来社会を創造する」

平成26法人年度ウイング事業所ミッション

「自己を磨き、効率的かつ有効な業務を
遂行し財務強化に努める」

行動目標

- ①年間平均稼働：入所97%以上・通所80%以上を目指す。
- ②委員会・会議すべての「決定」までのプロセスを見直し、再構築を行い、最も効率的で有効な運営を図り、最速でご利用者のサービスに反映する。

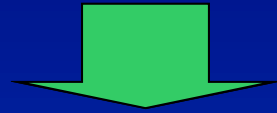
そして、もう一つ...

③在宅復帰・在宅療養支援機能加算を取得し、ご利用者に安定・安心した生活を提供する。

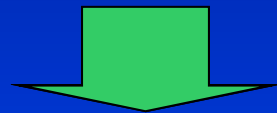
つまりは...

6か月平均の在宅復帰率30%超

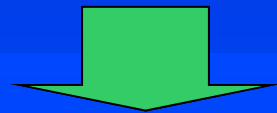
とは言っても
まず何をしたら良いのやら…



在宅復帰へ向けたニーズは？
やはり「トイレ動作の自立」が多い

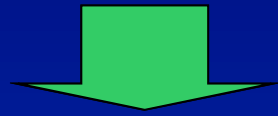


3 Fには各居室にトイレがあるので
生活リハが行いやすいのでは？

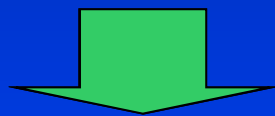


一般棟 3 F を
「在宅復帰強化フロア」に指定

他に自宅での生活に必要なことは？



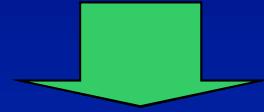
「歩けるようになりたい！」
「階段が使えるようになりたい！」
でないと自宅では生活できない…



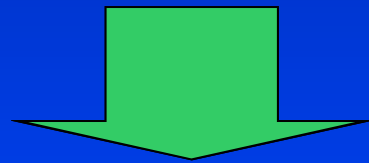
毎日、歩行の訓練をしましょう！
階段昇降の訓練をしましょう！

「元気クラブ」をやりましょう！

中には、
最短 1 ヶ月で自宅へ帰られる方も…

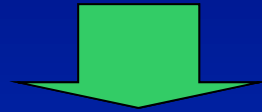


プラン提示後の「元気クラブ」実施では遅い…
1 か月中 2 週間が無駄になってしまうかも…

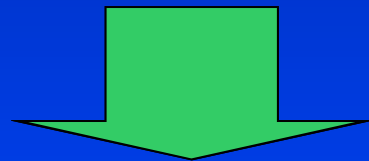


じゃあ、すぐに歩きましょう！
すぐに「元気クラブ」をやりましょう！

通常の入所者は
3ヶ月毎にプランを見直しているが...



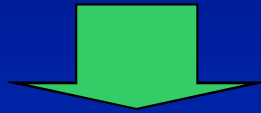
3ヶ月じゃ、自宅へ帰ってしまう。
利用者の状態は日々変化する。
3ヶ月同じプランではダメでは？



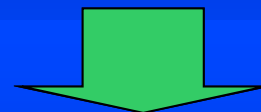
では、1か月ごとに見直して
状態に合わせてプランを作りましょう！

課題や問題点は？

従来からのフロア業務が整備できないまま取り組み…



- ①「元気クラブ」対象者の増加
- ②入退所業務の増加
- ③利用者層の変化による事故リスクの増加
- ④自宅訪問への介護スタッフ同行が難しい
- ⑤ケアプラン作成頻度が増加



フロアの業務負担が増加してしまった。

取り組みの結果…

在宅復帰率の推移



そして、平成27年1月には

在宅復帰率：57.14%

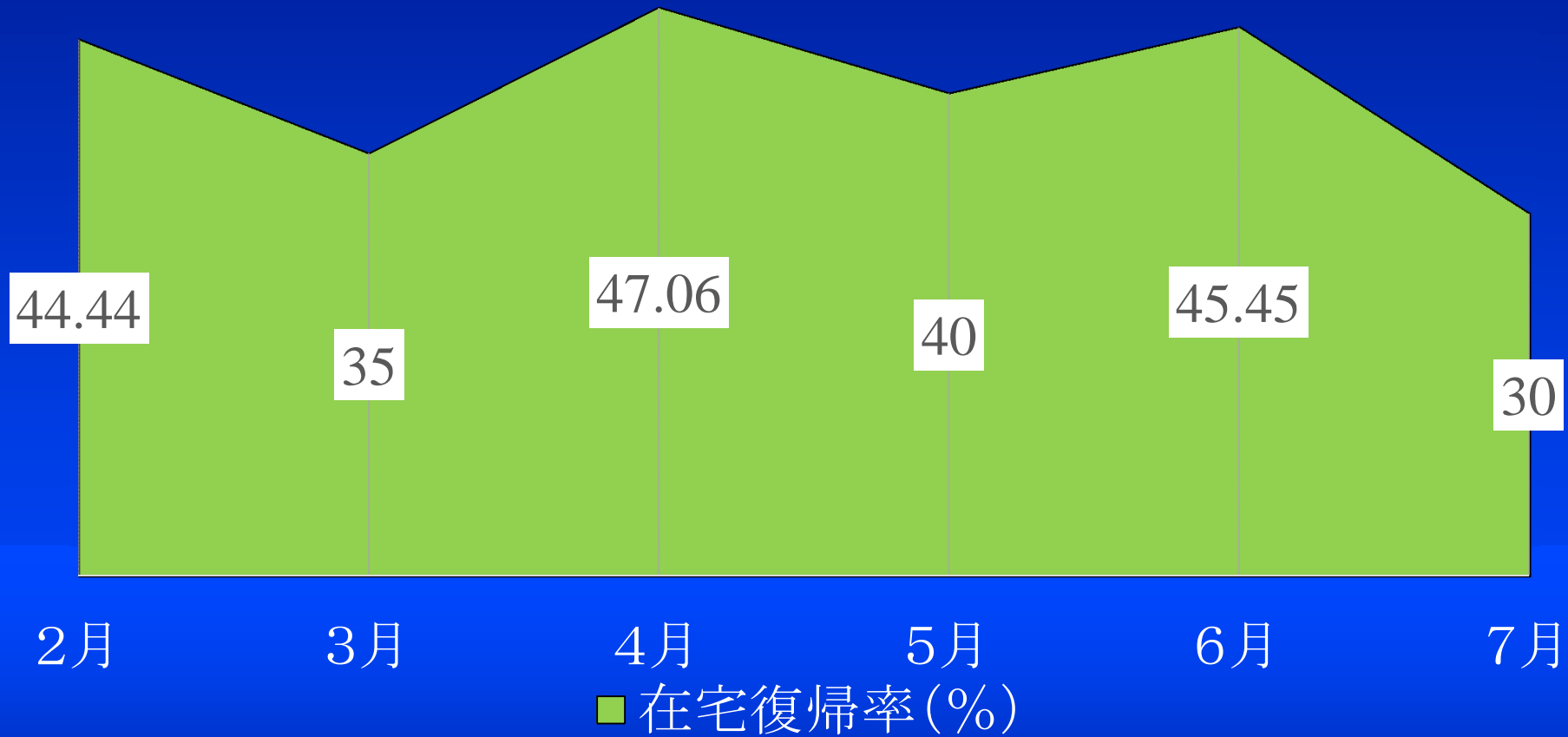
6か月平均は…

35.66%

加算取得要件獲得！

その後も…

在宅復帰率の推移



今後に向けて

平成27年度ウイング事業所ミッション

【地域に根ざした
「かかりつけ老健」を目指す】

そして行動目標は…

「在宅復帰支援機能加算」取得継続に向けたプロセスの見直しと強化を行い、整次第「強化型」取得に向けて準備を進める。そして加算継続と同時に年間入所平均稼働率97%以上を目指す。

老健に本来求められている機能は？

「在宅復帰」

地域において、その役割の一端を担う

ご清聴ありがとうございました。